

徳とく泉く寺ほ報う

No. 5 6

発行

令和4年6月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区

榴岡3-10-3

(022)297-4248

tokusenji.sendai@gmail.com

[ai@gmail.com](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)



ホームページ

tokusenji-sendai.com



Instagram

[tokusenji.sendai](https://www.instagram.com/tokusenji.sendai)



TOKUSENJI.SENDAI

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要 「お待ち受け大会」 勤修

来る二〇二三年春、真宗大谷派の宗祖である親鸞聖人の御誕生八百五十年と立教開宗八百年の慶讃法要が京都東本願寺で行われます。それを受け各地で「お待ち受け大会」が催されています。

仙台においても去る六月十一日(土)清月記仙台迎賓館・斎苑別館大ホール(青葉区)を会場に慶讃「お待ち受け大会」が勤修されました。

大会に先立って、ご本山から大谷暢裕(ご門首)をお迎えして、真宗門徒としての名乗りである法名を受式する**帰敬式**(ききようしき)が挙行されました。帰敬式は「剃刀の儀(おかみそり)」とも呼ばれ、頭髪に剃刀(かみそり)を当てて髪をおとすことを型取り、法名をいただく。仏・法・僧の三宝を抛り所に仏弟子として生きることを誓う儀式です。今回は、ご門首自ら剃刀を持ち、法名をいただくお一人お一人に剃刀を当てて儀式を執行され、新たに百四十四名の方がこの日法名を授かりました。

徳泉寺からも一〇名の方が受式されましたが法名をいただく緊張と安堵の気持ち両方垣間見え、受式後の晴れ晴れとした表情に参列したこちらも心の底からお祝いの気持ちが込



親鸞聖人絵像

み上げました。一般的に法名という死後にいただくお名前という印象がありますが、この帰敬式でのみなさんの様子を拝見していると、生前に法名をいただくことで、仏教徒として仏の教えを抛り所に生きる安心感が生まれるのを感じます。帰敬式は各寺院の住職が執行することもできますので、ご興味ある方はお問い合わせいただけたら、と思います。

続いて開催された「お待ち受け大会」。勤行は仙台教区の声明会に在籍するご住職たちが壇上に上がり参列者全員で「正信偈」をお勤めしました。引き続きご門首(ご挨拶の後、記念講演として専福寺住職(東京都新宿区)二階堂行壽氏から「**むなしさを開く道を**」と題してご法話いただきました。(法話抜粋は裏面)慶讃法要のテーマ「人と生まれたことの意味をたずねていこう」について大変わかりやすく、また新たに法名をいただいた方々へのエール(応援歌)ともとれるようなお話でした。

広く岩手・宮城・福島三県から多くのご門徒とご住職が集まり大変厳粛な大会となりました。移動同朋会として徳泉寺同朋会からも多くのご参列者があり、同じ真宗の道を歩む者としての足元を見つめ直した一日でした。



会場の様子